

# 枯れ葉剤使用成分が山林に埋設

## 山本県議、田村衆院議員らとともに現地調査

猛毒の枯れ葉剤の成分2・4・5「T剤」が、県内の山林に埋設されている問題で、山本のぶひろ県議は、県内複数の埋設箇所に入り、状況を調査しています。2月14日は宇土市の埋設箇所を田村貴昭衆院議員、



(右2人目から)田村衆院議員、福田市議とともに調査(宇土市)

福田慧一市議らとともに、また3月7日には、芦北町の埋設箇所を坂本登町議とともに調査しました。

宇土市では、一カ所の上限300キロ以内とした林野庁の通達に違反する巨大な塊が埋設されている実態など確認しました。

住民の不安を払しょくするうえで、早急な撤去が必要です。



坂本町議(左)と埋設箇所を調査(芦北町)

## アサリ産地偽装問題

### 県対応の検証と反省を

#### 農水委で山本県議が指摘

2月24日の県議会農林水産常任委員会では、アサリの産地偽装問題に関する議論が交わされました。山本のぶひろ県議は、「消費者からの不信の目は、これまでの熊本県の対応がどうだったのか、という点にも向けられている」と指摘し、長期にわたり横行してきた不正を是正できなかった県の取り組みについて、厳しい自己検証を求めました。また、根本問題として、かつて日本一のアサリ漁獲を誇り、豊饒の海であった有明海や不知火海・八代海を、今後どう再生していくのか、ということも問われていることを指摘しました。

## 今年度補正予算で成立した個人向け支援策の主な内容

- ◎私立学校(専攻科)授業料減免補助  
低年収世帯の4〜5年生の専攻科生徒に就学支援金を支給。
- ◎農業における事業者支援  
省力化、品質向上の取組みを支援。米価下落による作付け転換を支援(定額助成5千円/10a)。園芸・特産事業者がおこなう低コスト化を支援。
- ◎事業復活おうえん給付金(豪雨型)  
令和2年7月豪雨に係る補助金を活用し、かつ売り上げ減少率10%〜30%の事業者に法人30万円、個人事業者15万円を給付
- ◎事業復活おうえん給付金  
売り上げ減少率30%以上の事業者に給付。
- ◎中小企業の再興を支援  
廃業企業の事業継承や再チャレンジを支援(補助割合2/3、上限額150万円)
- ◎飲食店の感染防止対策支援  
認証制度の基準に沿った感染防止対策への支援(補助割合3/4)
- ◎なりわい再建支援補助金  
(公共工事の影響など令和4年度の申請とならざるを得ない事業者のため、令和4年度も事業を継続)。自己負担分借り入れへの利子補給。

## 「一日も早い救済を」

### 水俣病被害者から痛切な訴え

#### 山本県議、市田参院議員らとともに被害者と懇談

山本のぶひろ県議は2月19日、市田忠義参院議員らとともに、水俣病被害者の方々との懇談会に参加しました。高岡朱美水俣市議や松岡勝党県委員長らも出席しました。

参加した被害者からは「手足のしびれや耳鳴りで夜も眠れない」「差別や偏見のせいで家族にさえ打ち明けられない患者が多くいる」「一日も早い救済に、党派を超えて取り組んでほしい」などの切実な訴えが寄せられました。



市田参院議員(中央)らと、被害者の訴えを聞く山本県議(左から2人目)



# 日本共産党 県議会だより 山本のぶひろ 県議会だより

2022年  
3月号

熊本市中央区水前寺6丁目18-1  
電話 096-3333-2647  
ファックス 385-0255  
HP 「日本共産党 山本のぶひろ」

## ロシアのウクライナ侵略 嚴重に抗議

### 2月県議会 全会一致で抗議決議を採択

熊本県議会は2日、ロシア軍によるウクライナへの軍事侵略を「侵略」と指摘し、ロシアに対し嚴重に抗議する決議を全会一致で採択しました。

決議では、今回のロシア軍の軍事侵略を「力による一方的な現状変更の試み」であり、「明白な国際法違反で、国際秩序の根幹を揺るがす行為」として、断じて許容できないと強調しています。そのうえで政府に対し、(ロシアに)抗議し、即時完全かつ無条件で軍の撤退、世界の恒久平和の実現に向けた国際法に基づく誠意を持った対応を強く迫るよう求めています。



報告する山本のぶひろ県議

## 必要としてくるすべての人に行き渡る支援こそ

### 山本のぶひろ県議、補正予算への討論で主張

旅行キャンペーンの恩恵は限定的  
困窮する事業者、住民への直接支援を

今年度の補正予算として、「県内宿泊・日帰り旅行キャンペーン」106億円余が提案されました。しかし今年度の補正予算に計上すべき緊急的な必要性はありません。

山本県議は、「いま急いで求められているのは安全で迅速なワクチン接種、クラスターが発生している施設等で頻回に実施できる検査キットの集中的提供、保健所や医療体制の拡充」であると指摘。さらに旅行等の助成は、利用したくてもできない人にとっては何の恩恵もないこと、事業者からも「コロナ禍で困窮しているすべての事業者に届くような支援を」との声が上がっていることを紹介し、直接的な支援の拡充を求めました。

### 川辺川への新たなダム建設 県の負担金増額に反対

また補正予算には、川辺川に建設が予定されている新たな流水型ダム関連の直轄事業負担金の増額補正が提案されました。山本県議は、①ダム計画の存在によって堤防や宅地のかさ上げが抑制されてしまう、②新たな流水型ダムに開閉ゲートを設置するとうが、土砂と流木によってゲートが閉塞するなど危険性が指摘されている、③全国初の事業であり、予算の膨張が懸念される一などの根拠を示して予算計上に反対。いま急いで進めなければならぬのは、今度の雨季までに危険個所の堤防強化やかさ上げ等の対策に全力をあげることだ、と強調しました。

## 無料法律相談会のお知らせ

日時 3月28日(月) 13時30分から  
4月27日(水) 13時30分から

場所 山本のぶひろ生活相談所  
(中央区渡鹿5丁目19-7)

弁護士 久保田紗和さん(熊本中央法律事務所)

事前の予約が必要です。お問合せは362-5181まで。



渡鹿堰・大井手用水が紹介された案内板(左)設置されました。

## 世界かんがい施設遺産 が設置されました

世界かんがい施設遺産「白川流域かんがい用水群」の施設の一つ、渡鹿堰に案内板が設置され、喜ばれています。

この問題では山本県議も、一般質問などで「施設の積極的なPRや施設周辺整備の促進を」と求めてきました。

4月には熊本で世界かんがい施設遺産サミットが計画されており、注目が高まること期待されます。